

Pioneer

MDLP



MD/CD/チューナー・
DSP メインユニット

FH-P555MD

取扱説明書

carrozeria

目次 4 ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

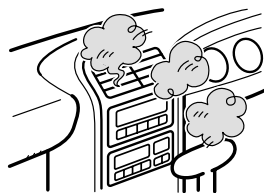
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに はじめに

- | | | |
|---|---------------------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 6 |
| 2 | 別売のリモコンを使う | 7 |
| 3 | 本機の操作の基本 | 8 |
| 4 | 本機のリセットについて | 10 |
| 5 | バッテリー上がりを防ぐために | 10 |
| 6 | ミュート機能について | 10 |
| 7 | 「CD TEXT」について | 11 |
| 8 | 50枚型マルチCDプレーヤーの使用
について | 11 |
| 9 | 長時間録音されたMDの再生について | 11 |

ここだけで ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ
電源を切る | 12 |
| 2 | CDのふだんの操作
CDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
CDを取り出す | 14 |
| 3 | MDのふだんの操作
MDを再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
MDを取り出す | 16 |
| 4 | ラジオのふだんの操作
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する | 18 |
| 5 | マルチCDのふだんの操作
CDを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する | 20 |

CD/MD 内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

- | | | |
|---|------------------------------|----|
| 1 | 演奏方法を切り換える | 22 |
| 2 | CDのタイトルを記憶させる | 24 |
| 3 | タイトルを表示させる | 26 |
| 4 | 「CD TEXT」のタイトルや歌手名
を表示させる | 27 |

ラジオ ラジオを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 28 |
| 2 | 記憶させた放送局を呼び出す | 29 |
| 3 | モードの切り換えかた | 30 |
| 4 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 31 |
| 5 | 放送局名を選ぶ | 32 |
| 6 | 放送局名を表示させる | 33 |

マルチCD マルチCDでCDを聞く (別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|--------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 34 |
| 2 | モードの切り換えかた | 35 |
| 3 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 36 |
| 4 | 聞きたい曲やCDをさがす | 37 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 38 |
| 6 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 39 |
| 7 | 記憶させた曲だけ再生する | 40 |
| 8 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 41 |
| 9 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 41 |
| 10 | CDのタイトルを記憶させる | 42 |
| 11 | タイトルを見て聞きたいCDをさがす | 44 |
| 12 | CD再生を一時停止する | 45 |
| 13 | CDの音質を調整する | 46 |
| 14 | 表示を切り換える | 47 |

音の調節

音を調節する

- 1 オーディオ調節モードの切り換えかた 48
- 2 前後左右の音量バランスを調節する 49
- 3 小音量時の音にメリハリをつける 49
- 4 各ソースの音量の違いをそろえる 50

DSP調節

音場と音質を調節する

- 1 DSP調節モードの切り換えかた 52
- 2 音場の中心で聞く 54
- 3 音楽に合った音質を設定する 56
- 4 イコライザーカーブを
大まかに補正する 57
- 5 イコライザーカーブを細かく調節する 58
- 6 低い音をスピーカーから
出力させないようにする 60
- 7 イメージに合った演奏会場を再現する 61
- 8 サブウーファーを使う 62

便利な機能

便利な機能と初期設定

- 1 エンタテインメント表示を
切り換える 64
- 2 交通情報を受信する 65
- 3 瞬時に音量を小さくする 65
- 4 初期設定モードの切り換えかた 66
- 5 時計を合わせる 67
- 6 時計を表示させる 67
- 7 外部機器の音声を聞く 68
- 8 外部機器の名称を入力する 69
- 9 リアの出力方法を変える 69
- 10 夜間のディスプレイの
明るさを切り換える 70
- 11 ディスプレイの明暗を調節する 70
- 12 音の歪みを補正する 71
- 13 ディスプレイの色を切り換える 71

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

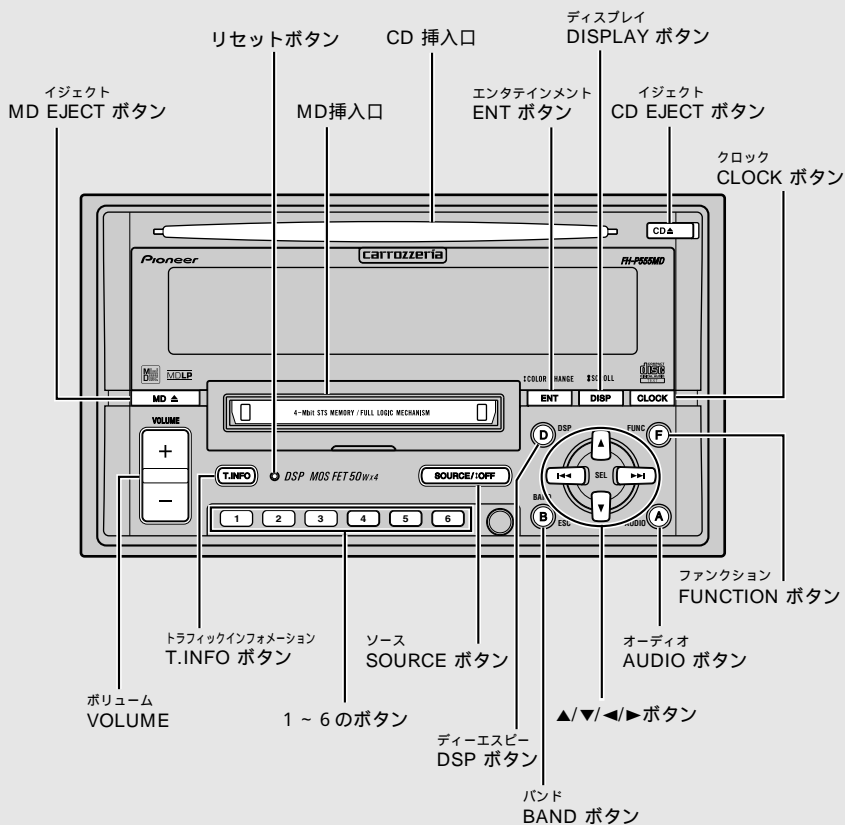
その他(付録)

その他

その他(付録)

- 1 CDの正しい使いかた 72
- 2 MDの正しい使いかた 74
- 3 故障かな?と思ったら 76
- 4 こんなメッセージが表示されたら 78
- 5 保証書とアフターサービス 80
- 6 おもな仕様 81

本機「FH-P555MD」



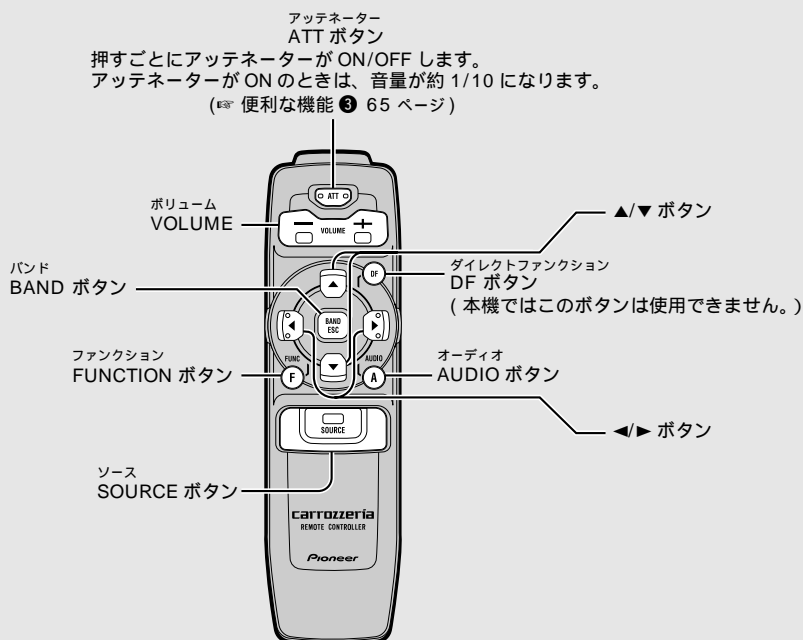
デモモードについて

電源がOFFのときに6のボタンを押す
(もう一度押すと終了)

ディスプレイ上にデモンストレーションが表示されます。

別売のリモコン「CD-R660」について

別売のリモコン「CD-R660」で、本機を操作することができます。
リモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



メモ

別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR80」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部リモコンでは操作できない機能があります。ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。

本機の操作の基本

本機を操作するときに、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを 聞いているとき
◀または▶ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続して いる場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BANDボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP調節 モード
1	それぞれの モードにする	FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSPボタンを 押す。
2	機能を切り換える	FUNCTIONボタンを押す。			AUDIOボタン を押す。	DSPボタンを 押す。
3	機能をON/OFFする または 項目を選ぶ	▲または▼ボタンを押す。				▲/▼/◀/▶ ボタンを押す。 (選択または調節)
		◀または▶ボタンを押す。				
4	それぞれの モードを解除する	BANDボタンを押す。				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード** : CD/MDのリPEAT再生 (☞ CD/MD① 22 ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④ 37 ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を実行できます。
- 詳細設定モード** : ラジオの放送局名選択 (☞ ラジオ⑤ 32 ページ) やCDのタイトル入力 (☞ CD/MD② 24 ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード** : 外部機器 (☞ 便利な機能⑦ 68 ページ) やディマ- (☞ 便利な機能⑩ 70 ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード** : フェーダー/バランス (☞ 音の調節② 49 ページ) など、音質に関する調節ができます。
- DSP 調節モード** : グラフィックイコライザ- (☞ DSP 調節③ 56 ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、▲/▼/◀/▶ ボタンの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例

内容



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。



◀または▶ ボタンで項目を選ぶことができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。



▲または▼ ボタンで機能のON/OFFができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。



▲/▼/◀/▶ ボタンで操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

はじめに

4

本機のリセットについて

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

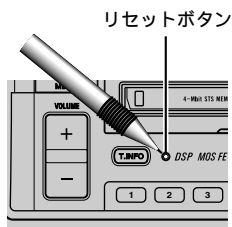
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



はじめに

5

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

はじめに ミュート機能について

はじめに

6

ミュート

ミュート機能のある製品（パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9900」など）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は「0」になります。

ミュート機能が解除されると、自動的に、もとの音量に戻ります。

はじめに

7

「CD TEXT」について

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



はじめに

8

50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

50枚型マルチCDプレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

はじめに

9

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。本機とMDLPに対応していない製品(MD-P100IIなど)を組み合わせた場合、その製品では長時間録音されているMDを再生することができません。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵 CD

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

内蔵 MD

マルチ MD (別売)

マルチ CD (別売)

エクスターナルユニット 1 (別売) ¹

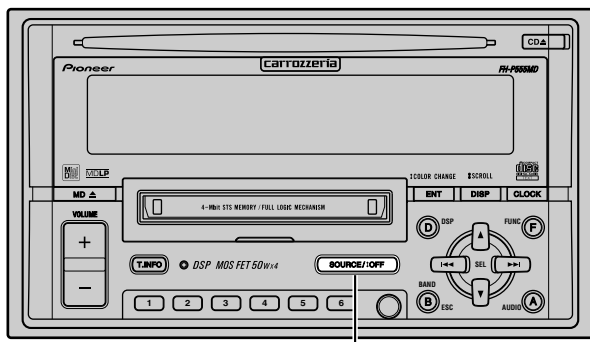
エクスターナルユニット 2 (別売) ¹

AUX (外部機器) (別売) ²

内蔵 CD に戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
本機の電源が切れます。




ソース
SOURCE ボタン

メモ

接続していないソースには切り換わりません。CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

¹エクスターナルユニットとは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のエクスターナルユニットをコントロールすることができます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、本機によって、エクスターナル1、エクスターナル2が自動的に設定されます。

²AUX（外部機器）の設定（ 便利な機能 ⑦ 68ページ）をONにしないと、AUXには切り換わりません。

テレビ、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

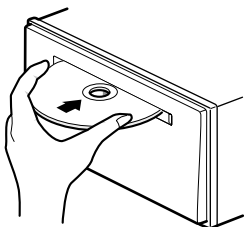
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7700W」
マルチMD	「MD-P100II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CD を再生する

タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。



ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

「CD TEXT」を再生する場合は、CD をセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (CD/MD) したCDを再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやMDなど) に切り換えることもできます。(CD/MD) 12ページ) CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

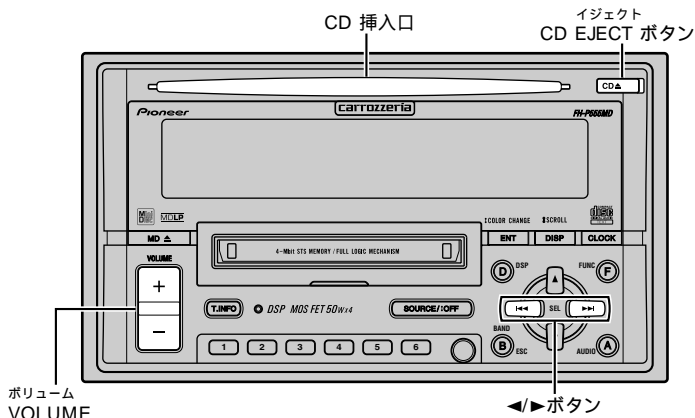
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を 調節する

VOLUME を押す

- + を押す : 大きくするとき
- を押す : 小さくするとき

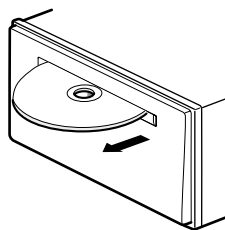


音量は0 ~ 40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで MD のふだんの操作

3

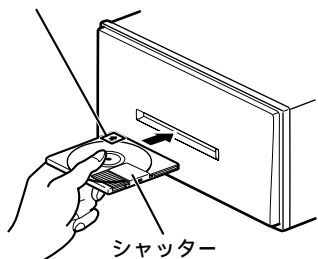
MD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵の MD プレーヤーで MD を聞くことができます。

1 MD を再生する

ラベル面を上にして、MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



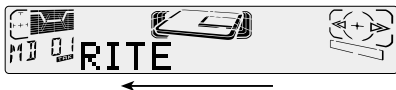
確認

MD のシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

MD の再生が始まります。



MD をセットしたときや、他のソースから内蔵 MD に切り換えたときなどに、ディスクタイトル、曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

曲を選んだときに、曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

メモ

MD をセットしたまま電源を OFF にしたり、他のソース (ラジオや CD など) に切り換えることもできます。(☞ ここだけで 12 ページ)
MD 挿入口には、MD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

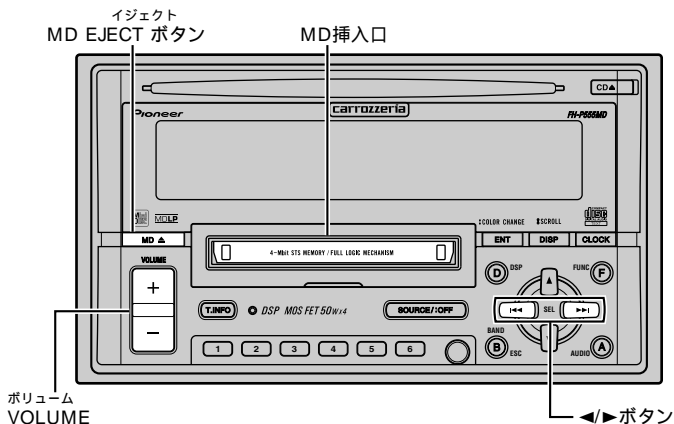
早送り/早戻しをする

音量を調節する

MDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を押す

- + を押す : 大きくするとき
- を押す : 小さくするとき

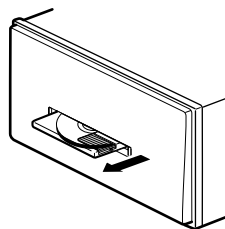


音量は0 ~ 40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

MDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで **4** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



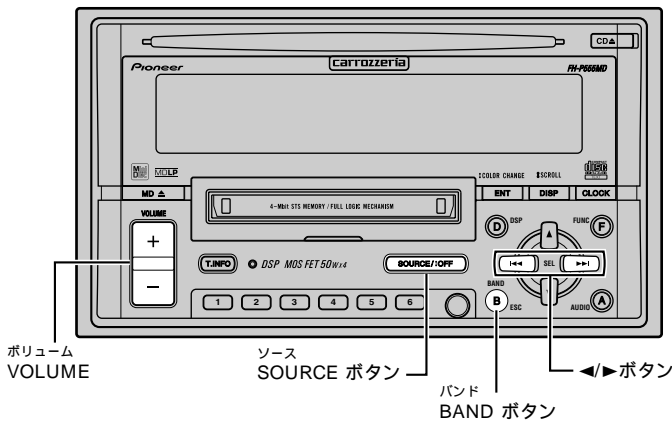
F1 (FM1) F2 (FM2)

A2 (AM2) A1 (AM1)

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ14 28、31ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



選局方法の使い分け	
手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を 調節する

VOLUME を押す

- + を押す : 大きくするとき
- を押す : 小さくするとき

音量は0～40の範囲で調節できます。約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 12ページ)

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す

マルチCDの再生が始まります。



「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P670」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

タイトル入力 (☞ マルチCD ⑩ 42 ページ) したCDを再生する場合は、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルを自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



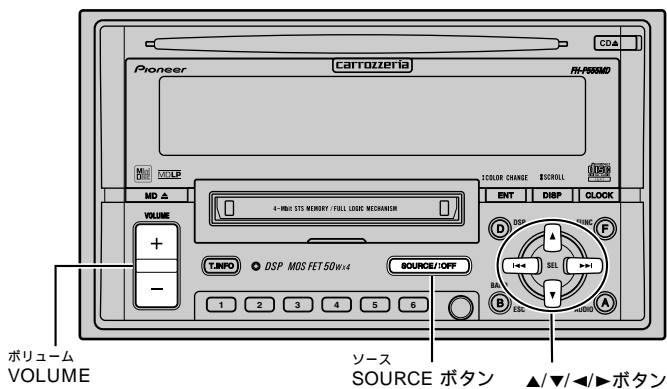
CD番号

メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“READY”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“NO.MAGAZINE”が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を 調節する

VOLUME を押す

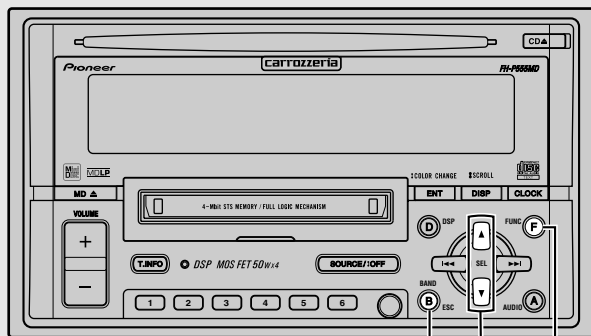
- + を押す : 大きくするとき
- を押す : 小さくするとき



音量は0 ~ 40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 12ページ)



バンド
BAND ボタン

▲/▼ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

CD/MD 1 演奏方法を切り換える

内蔵のCD/MDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

ランダムモード

トラックスキャンモード

ポーズモード

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。

(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

2 選んだ演奏方法をONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

ファンクションモードについて

リピートモード (REPEAT)

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

ランダムモード (RANDOM)

選曲を内蔵CD/MDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

トラックスキャンモード (T.SCAN)

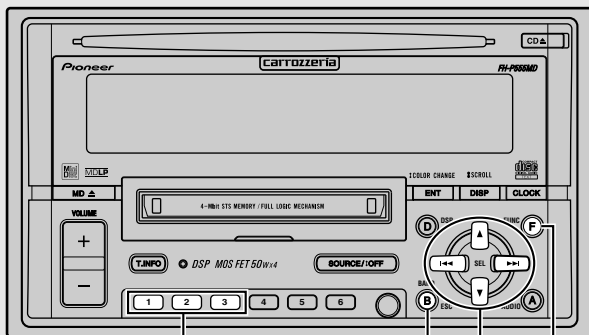
曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々と再生していきます。聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにしてください。(スキャン再生を始めて約30秒たつと、ファンクションモードが自動的に解除されます。この場合、再度トラックスキャンモードに切り換えてから、スキャン再生をOFFにしてください。)

ポーズモード (PAUSE)

CD/MD再生を一時停止します。

メモ

スキャン再生は、スキャン再生を始めた曲まで戻ると、自動的に解除されます。



1～3のボタン

バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

CD/MD
2

CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (P. 26 ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

マルチCDを組み合わせて使用する場合

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(☞ ここだけで② 14 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの 大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン)、 音引き (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

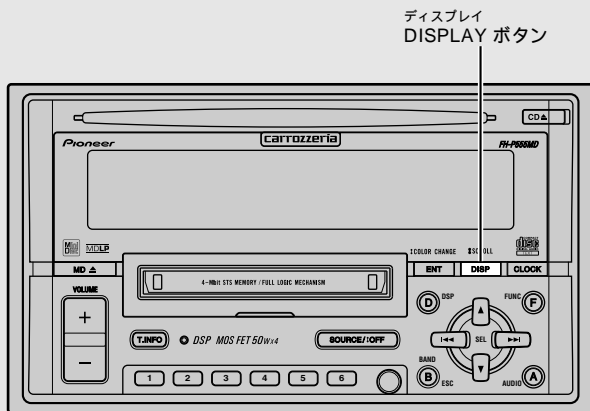


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、タイトル入力モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBAND ボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



CD/MD
3

タイトルを表示させる

タイトル表示

再生経過時間以外に、ディスクタイトルやトラックタイトルを表示させることができます。タイトルは一度に10文字まで表示できます。また、MDで10文字を超えるタイトルが入力されている場合は、隠れている文字を順に表示させることもできます。

タイトル表示について

再生経過時間表示は、ランダム、トラックスキャン再生を行うと、それぞれのON/OFFの状態を示す表示に変わります。

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字がそのまま表示されます。

本機では、MDの録音方法に関わらずトラックタイトルの先頭の「LP:」を表示しません。(長時間録音されたトラックタイトルの先頭には、「LP:」があらかじめ入力されている場合があります。)

CDのタイトルを表示させる

1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル表示



入力したタイトル

再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

MDのタイトルを表示させる

1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

再生経過時間表示



ディスクタイトル表示



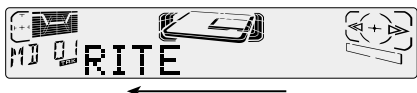
トラックタイトル表示



再生経過時間表示に戻る。

2 隠れているタイトルを表示する

DISPLAYボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

ディスクタイトルおよびトラックタイトルが入力されていないMDで表示を切り換えると、「NO D-DATA」および「NO TR-DATA」が表示されます。

本機では、MDにディスクタイトルやトラックタイトルを入力することはできません。

「CD TEXT」のタイトル
や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

本機に「CD TEXT」をセットしたとき、トラックタイトルや歌手名などを表示させることができます。一度に10文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示させることもできます。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名) 表示

ディスクアーティストネーム (歌手名) 表示

トラックタイトル (曲名) 表示

トラックアーティストネーム (歌手名) 表示

再生経過時間表示に戻る

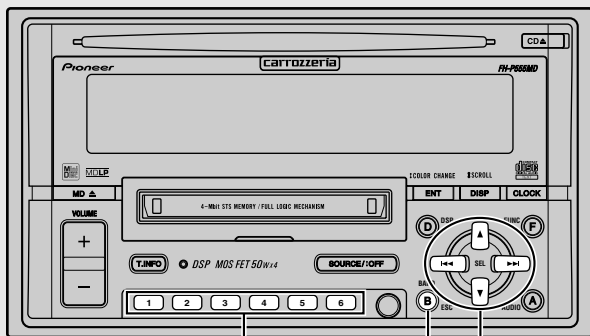
2 隠れているタイトルを表示する

DISPLAYボタンを2秒以上押す

隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

トラックアーティストネームなどが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA.NAME」などが表示されます。



1 ~ 6 のボタン BAND ボタン ▲/▼/◀/▶ ボタン

ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1 ~ 6 のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 18 ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 19 ページ)

3 記憶させる

1 ~ 6 のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)


記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで④ 18 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

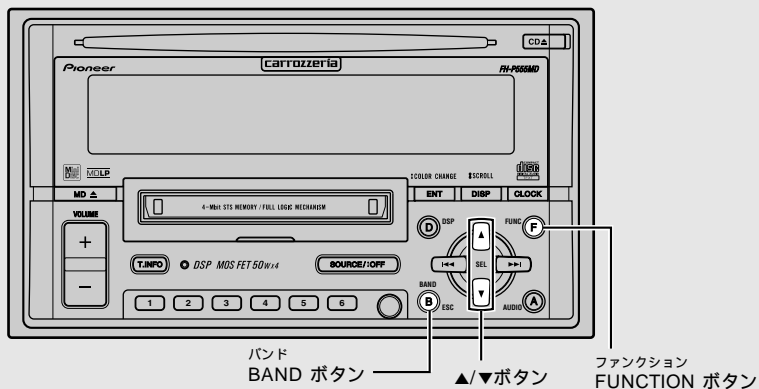
▲または▼ボタンを押す

▲：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ
3

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す
BSM モードになります。
(ラジオ④)

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す
放送局名選択モードになります。
(ラジオ⑤ 32 ページ)

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。


複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

( ここだけで④18ページ)

2 BSM モードにする

FUNCTION ボタンを押す

( ラジオ①)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に点滅します。

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。




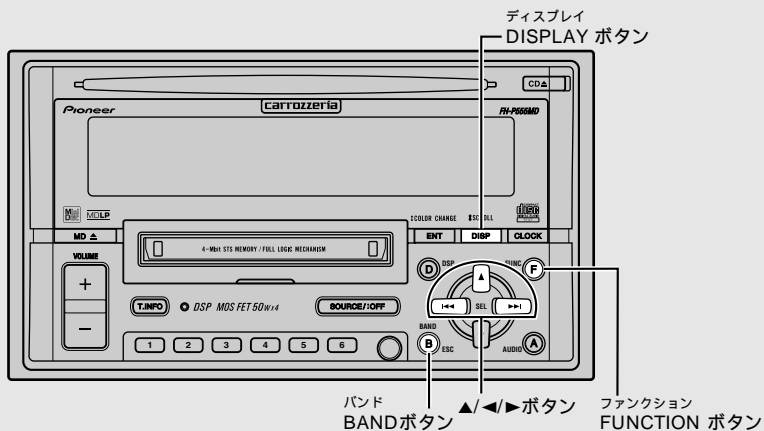
受信中の記憶番号

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには ( ラジオ② 29ページ)



ラジオ 5 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (ラジオ 6) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、“TOKYO FM”、“FM 青森”、“FM 福岡”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ラジオ 18 ページ)

2 変更したい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(ラジオ 19 ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
(ラジオ 30 ページ)



約2秒間表示されます。

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名などを表示させることができます。

4 放送局名を選ぶ

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

5 放送局名を変更する

- ▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD (「CDX-FM653 など」) をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、“FM TVsound”の放送局名を選ぶことができます。

7 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

放送局名表示



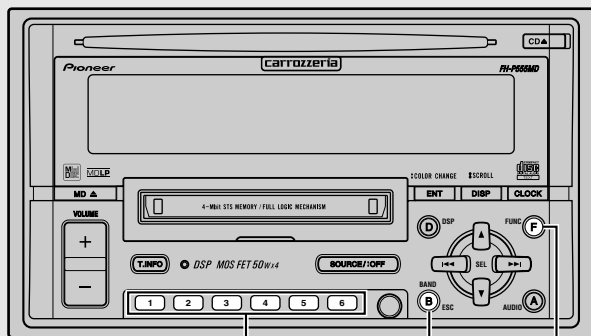
放送局名が表示されます。

受信周波数表示



受信周波数

放送局名表示に戻る



1 ~ 6 のボタン

バンド
BAND ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 1 聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7 ~ 12枚目のCDを選ぶとき



CD番号


モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。


ファンクションモードの切り換え


1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。


リピートモード
( マルチCD ③ 36 ページ)


タイトルリストモード
( マルチCD ① 44 ページ)

ランダムモード
( マルチCD ⑤ 38 ページ)

スキャンモード
( マルチCD ④ 37 ページ)

ITS再生モード
( マルチCD ⑦ 40 ページ)

ポーズモード
( マルチCD ⑫ 45 ページ)

COMP切り換えモード
( マルチCD ⑬ 46 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

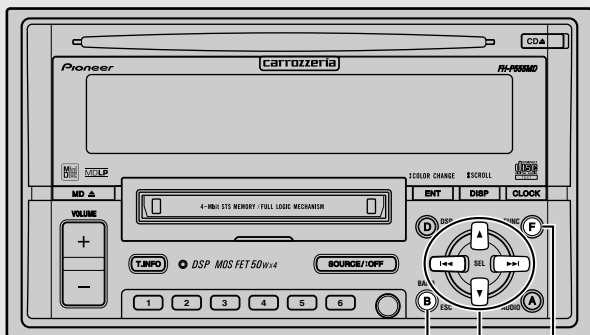
タイトル入力モード
( マルチCD ⑩ 42 ページ)

ITS入力モード
( マルチCD ⑥ 39 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 3 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD ② 35 ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCD (マルチCDリピート)

TRKに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



“DISC” “RPT”

トラックリピートのときは“RPT”、ディスクリピートのときは“DISC”が表示されます。

聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リpeatモードにして
再生範囲を選ぶ (☞ マルチCD③)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら
スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は自動的に解除されます。トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD② 35 ページ)



3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



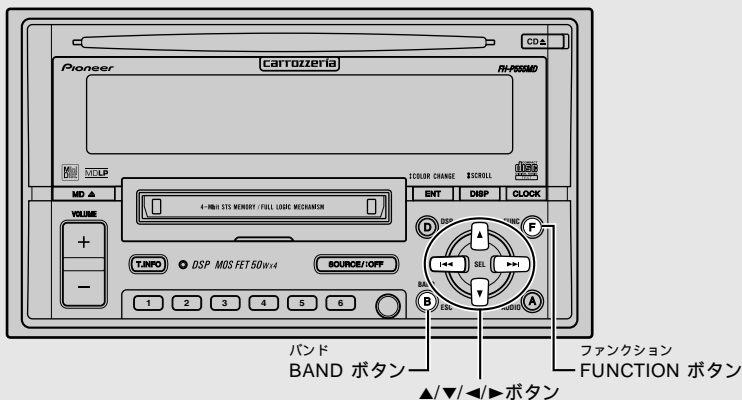
曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
T.SCAN	ディスクリピート
D.SCAN	マルチCDリピート



マルチCD 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲 を選ぶ (☞ マルチCD ③ 36 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ② 35 ページ)



3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
D-RDM	ディスクリピート
M-RDM	マルチCDリピート

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD ⑦ 40 ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD ⑦ 40 ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD ⑩ 42 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで⑤ 20 ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ② 35 ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す
(☞ ここだけで⑤ 21 ページ)

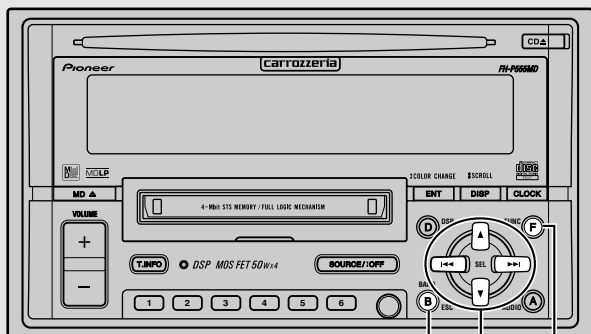
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



バンド
BAND ボタン

▲/▼/◀/▶ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

マルチCD 7 記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 記憶 (☞ マルチCD ⑥ 39 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲 を選ぶ

(☞ マルチCD ③ 36 ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS 再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ② 35 ページ)



3 ITS 再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

マルチCD

8

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(マルチCD ⑦)

2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す

(ここだけで⑤ 21ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 35ページ)



4 消去する

▼ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

9

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS 消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す

(ここだけで⑤ 20ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(マルチCD ⑦)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ② 35ページ)



3 消去する

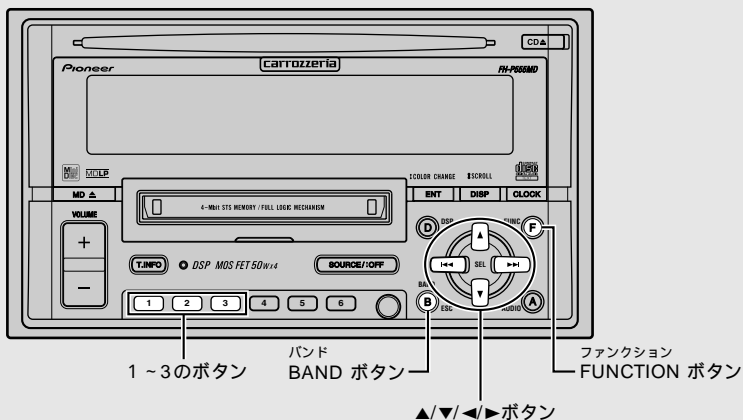
▼ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

マルチCDでCDを聞く



マルチCD 10 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD ④ 47ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (※ マルチCD ① 44ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリストをすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (※ マルチCD ⑥ 39ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで⑤ 20ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD ② 35ページ)



約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1 ボタン (1 ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2 ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3 ボタン (3 ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア ~ ン)、 音引き (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10 文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10 文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す

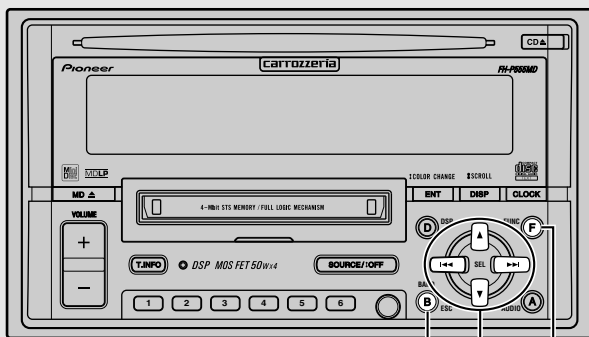


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) に BAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



バンド BAND ボタン
 ▲/▼/◀▶ボタン
 ファンクション FUNCTION ボタン

マルチCD
11

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
 (※ マルチCD② 35 ページ)



約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のCDのタイトルを表示させるとき
- ◀ : 前のCDのタイトルを表示させるとき



CD番号が点滅します。 記憶されているタイトルが表示されます。

3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

タイトルが入力されていないCDを選んだときは、“NO TITLE”が表示されます。

CD再生を一時停止
する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD ● 35 ページ)

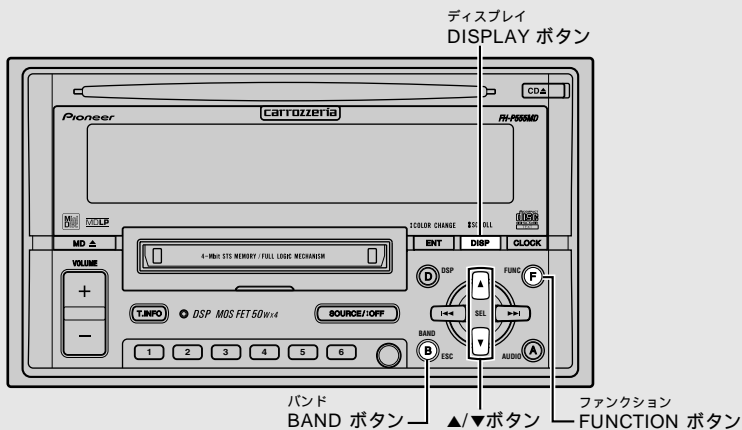


2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。

一時停止中に表示されます。



マルチCD 13 CDの音質を調整する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション)の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ マルチCD ② 35 ページ)



ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「NO COMP」が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

表示を切り換える

表示切り換え

入力したタイトル (マルチCD 42 ページ)、「CD TEXT」に収録されたタイトルなどを表示させることができます。「CD TEXT」のタイトルは一度に10文字まで表示できます。10文字を超える場合は、隠れている文字を順に表示させることもできます。

表示を切り換える

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

再生経過時間表示



タイトル表示



再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

「CD TEXT」の表示を切り換える

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など)の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、ディスク名/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに、ディスプレイが切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (ディスク名) 表示

ディスクアーティストネーム (歌手名) 表示

トラックタイトル (曲名) 表示

トラックアーティストネーム (歌手名) 表示

再生経過時間表示に戻る

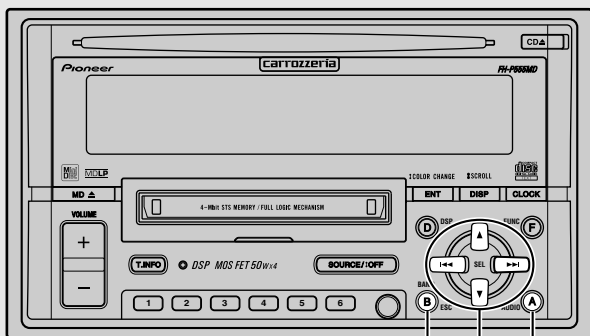
2 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す

隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

トラックアーティストネームなどが収録されていないCDで表示を切り換えると、「NO TA.NAME」などが表示されます。



バンド
BAND ボタン

オーディオ
AUDIO ボタン

▲/▼/◀/▶ボタン

音の調節

1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (音の調節②)

ラウドネスモード

(音の調節③)

SLAモード¹

(音の調節④ 50 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ ラジオの FM 放送を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節①)



2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀または▶ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき


◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

リア出力の設定 ( 便利な機能⑥ 69 ページ) を “REAR SP:S/W” にした場合は、前後の音量バランスを調節することはできません。

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節①)



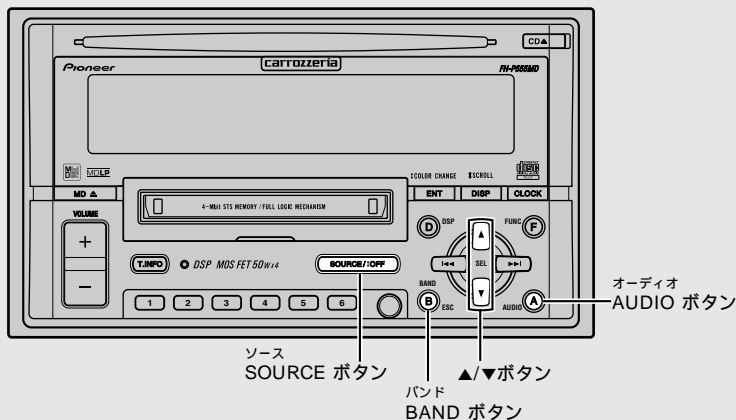
2 ラウドネスをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ラウドネスがONのときに表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

音の調節
4

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 18 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
(☞ ここだけで① 12 ページ)

3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
(☞ 音の調節① 48 ページ)



4 レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

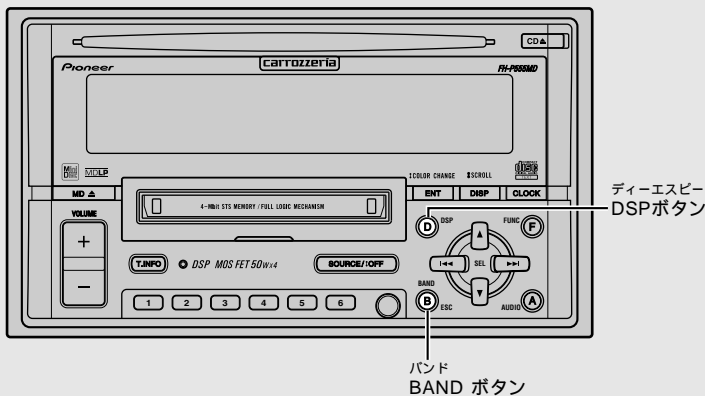
BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、エクスターナルユニットのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、エクスターナル1とエクスターナル2、およびAMと交通情報 (☞ 便利な機能② 65 ページ) は同じ設定になります。



DSP 調節

1

DSP 調節モードの切り換えかた

DSPの機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP調節モードに切り換えて操作します。

DSP 調節モードの切り換え

1 DSP 調節モードを切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード

(DSP 調節 ④ 56 ページ)

イコライザー調節モード ¹

(DSP 調節 ⑤ 58 ページ)

SFCモード

(DSP 調節 ⑦ 61 ページ)

リスニングポジションセレクターモード

(DSP 調節 ② 54 ページ)

サブウーファーモード ²

(DSP 調節 ③ 62 ページ)

サブウーファー調整モード ^{2 3}

(DSP 調節 ③ 62 ページ)

ハイパスフィルター調整モード ²

(DSP 調節 ⑥ 60 ページ)

グラフィックイコライザーモードに戻る

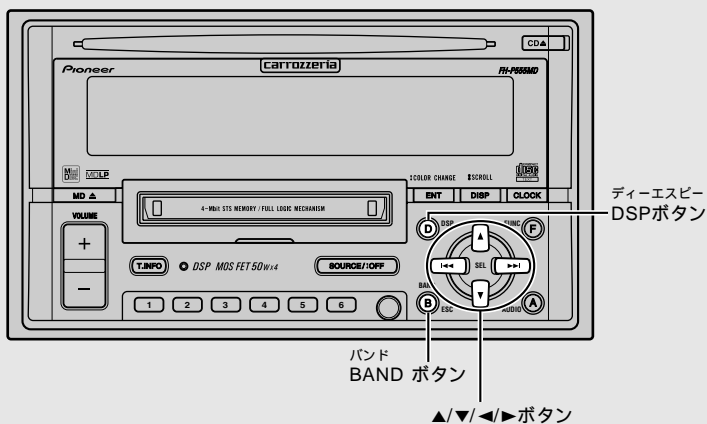
メモ

DSP 調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹グラフィックイコライザーモードで“CUSTOM”を選んだときだけイコライザー調節モードに切り換わります。

²リア出力の設定 (便利な機能 ⑨ 69 ページ) を“REAR SP:FUL”にした場合は、サブウーファーモード、サブウーファー調整モード、ハイパスフィルター調整モードには切り換わりません。

³サブウーファーモード (DSP 調節 ③ 62 ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調整モードには切り換わりません。



DSP 調節
2

音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

表示	乗車位置
FRONT-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT	同乗者が助手席にいるとき
ALL	同乗者が後部座席にいるとき

乗車位置について



FRONT-R



FRONT-L



FRONT



ALL

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 52 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとにON/OFFします。

▶ : FRONT-R

◀ : FRONT-L

▲ : FRONT

▼ : ALL



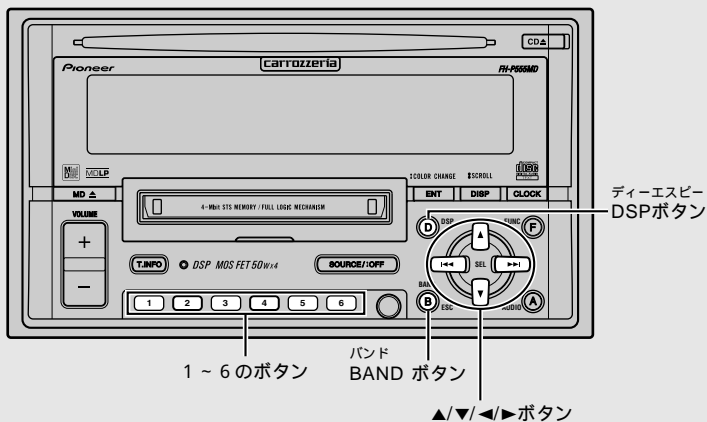
ポジションマーク
が表示されます。

選んだ乗車位置
が表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに、音量バランス (音の調節 ② 49 ページ) を記憶させることができます。
リア出力の設定 (便利な機能 ④ 69 ページ) を “REAR SP:S/W” にした場合は、乗車位置の “ALL” を選択することはできません。



DSP調節 3 音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

音楽ジャンルに合わせて設定されているもの5種類 (ファクトリーカーブ) と自分で設定できるもの (CUSTOM) の中からイコライザーカーブを選ぶことができます。

FLATとCUSTOMについて

FLAT (6のボタン)

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確かめるのに使くと便利です。

CUSTOM (5のボタン)

ニュアンスコントロール (DSP調節④) やイコライザー調節 (DSP調節⑤ 58ページ) により、イコライザーカーブをお好みに応じて調節し、記憶させることができます。

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

S-BASS (SUPER BASS) PWFL (POWERFUL)
(1のボタン) (2のボタン)

FLAT NTRL (NATURAL)
(6のボタン) (3のボタン)

CUSTOM (5のボタン) VOCAL (4のボタン)

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP調節① 52ページ)



選んだイコライザーカーブが表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

2 イコライザーカーブを切り換える

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

1 ~ 4、6のボタン : ファクトリーカーブ
5のボタン : CUSTOM

メモ

交通情報 (便利な機能② 65ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさず、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節① 52 ページ)

2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

( DSP 調節③)

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1 つを押す

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ご注意

FLATおよび、FLATが記憶されているCUSTOMを補正することはできません。



3 イコライザーカーブを補正する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき



- 5 ~ + 6 の範囲で調節できます。(S-BASS とCUSTOMは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。ただし、CUSTOMに記憶されているユーザーカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

4 お好みにより、補正したイコライザーカーブを記憶させる

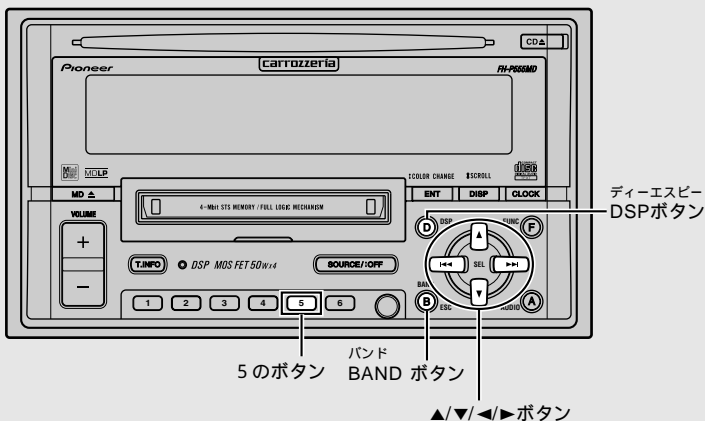
5 のボタンを2 秒以上押す

5 のボタンに記憶されます。

ご注意

補正したイコライザーカーブを残しておきたいときは、CUSTOM (5 のボタン) に記憶させてください。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。



DSP 調節
5

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

CUSTOMは、お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ● 52 ページ)



2 イコライザーカーブをCUSTOMにする

直接呼び出す

5のボタンを押す

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ● 56 ページ)



“CUSTOM” を選ぶと表示されます。

3 イコライザー調節モードにする

DSP ボタンを押す

“CUSTOM” を呼び出したときだけ、イコライザー調節モードに切り換わります。



4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

50、100、200、400、800、1.6k、3.2k、
6.3k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲：効果を強めるとき

▼：効果を弱めるとき

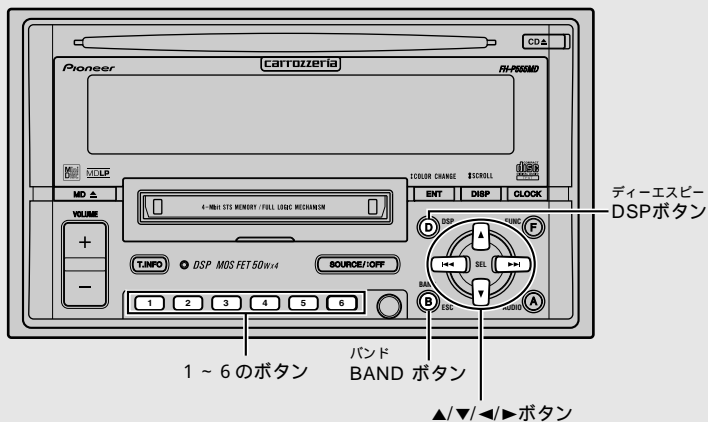


レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

調節したイコライザーカーブ (CUSTOM) は、ソースごとに記憶されます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、エクスターナル1とエクスターナル2は同じ設定になります。また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容がCUSTOMに記憶されません。



DSP 調節 6 低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

1 ハイパスフィルター調整モードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 52 ページ)



2 ハイパスフィルターをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



3 ハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各スピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

リア出力の設定 (便利な機能 ⑨ 69 ページ) を “REAR SP:FUL” にした場合は、ハイパスフィルター調整モードに切り換わりません。

イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / OCT / BBE

SFCやBBEで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、OCTで重量感のある音を楽しむことができます。

SFCについて

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。STUDIOやCLUBなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

OCT (オクターバー) について

サブウーファー帯域の重低音域を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCT2の方がOCT1より低音を強調する効果があります。

BBEについて

高音域の補正とともに低音域を押し上げることで、高音は鮮明に細部まで再現され、低音は締めりのある明確な音となります。このため、ライブ演奏に近い、自然で臨場感のある音で再生することができます。

1 SFCモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ① 52 ページ)



2 音場プログラムを選ぶ

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンを押す (同じボタンをもう一度押すと OFF)

順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SFC OFF STUDIO (1のボタン)

JAZZ (2のボタン)

BBE
(6のボタン)

CLUB (3のボタン)

OCT2 OCT1 (4のボタン)
(5のボタン)



BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

手順2でBBEを選んだとき

3 BBEのレベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき

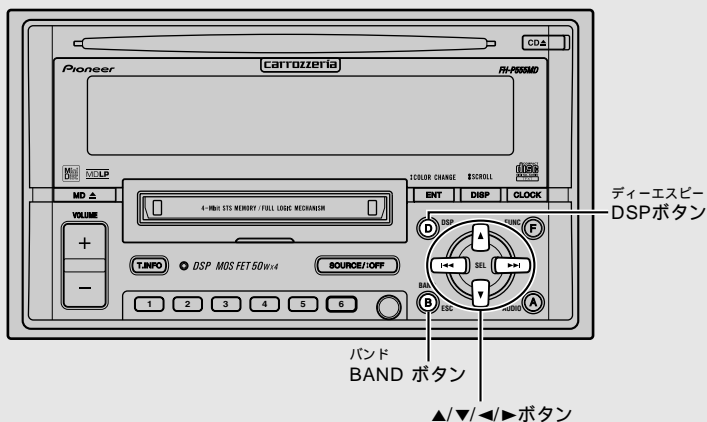


レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。



DSP 調節

8

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、リアスピーカーリード線または、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロントスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロントスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロントスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、80、125 (Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(※ DSP 調節 ① 52 ページ)



2 サブウーファーをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : ◻ (正相)
- ◀ : ◻ (逆相)



▶ と ◻ を切り換えることができます。

4 サブウーファー調整モードにする

DSP ボタンを押す



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき

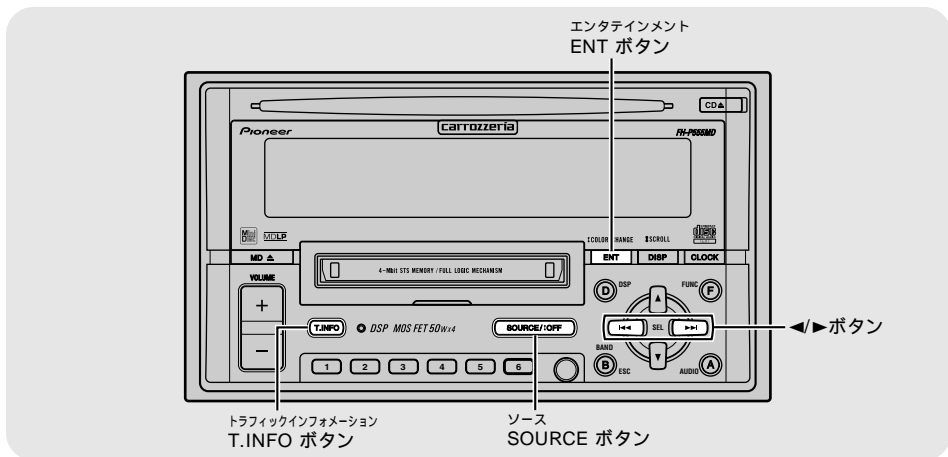


レベルは -15 ~ +6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

リア出力の設定 (◻ 便利な機能 69 ページ) を “REAR SP:FUL” にした場合は、サブウーファーモード、サブウーファー調整モードには切り換わりません。
サブウーファー機能を OFF にした場合は、サブウーファー調整モードには切り換わりません。



便利な機能

1

エンタテインメント表示を切り換える

エンタテインメント表示

各ソースを聞いているときに、5種類のエンタテインメント表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCE ボタンを押す

(ここだけで① 12 ページ)

スピーカーから音が出力されている状態にします。

エンタテインメントモード1



エンタテインメントモード2



2 スペアナ表示を切り換える

ENT ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

スペアナモード



レベルインジケータ



無表示



エンタテインメントモード3



スペアナモードに戻る

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.INFO ボタンを押す



交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 1,629 kHzにするとき
- ◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

T.INFO ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、SFCモード (DSP調節 61ページ) がOFFになりイコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめると、SFCモードおよびイコライザーカーブは元の状態に戻ります。

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

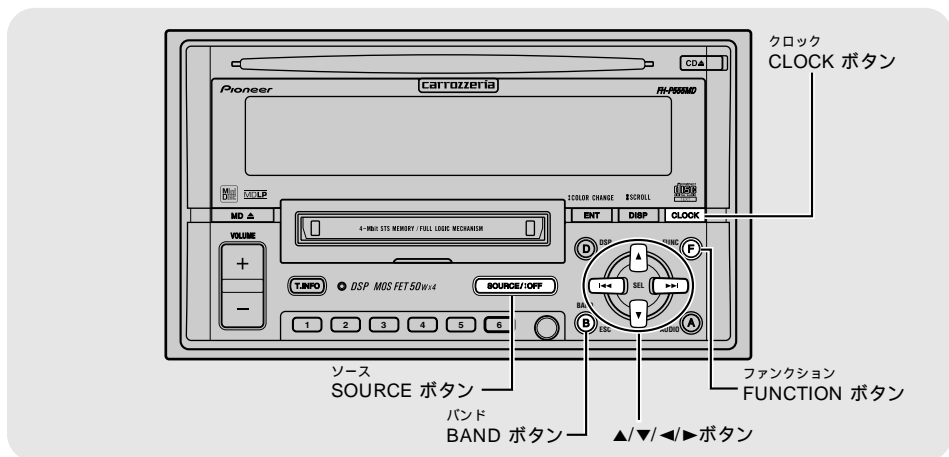
リモコンのATT ボタンを押す
(はじめに 7ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。



便利な機能
4

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
(☞ はじめに ① 12 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



初期設定モードになります。

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード (☞ 便利な機能 ⑤)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能 ⑦ 68 ページ)

ディマーモード (☞ 便利な機能 ⑩ 70 ページ)

リア出力設定モード
(☞ 便利な機能 ⑨ 69 ページ)

デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能 ⑫ 71 ページ)

コントラスト調節モード
(☞ 便利な機能 ⑪ 70 ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押す

(☞ 便利な機能④)



2 時計の設定をする

時、分を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



押すごとに時、分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ボタンを押す

▲：時刻を進めるとき

▼：時刻を戻すとき



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFにかかわらず、時計を表示させることができます。

1 時計を選ぶ

CLOCKボタンを押す

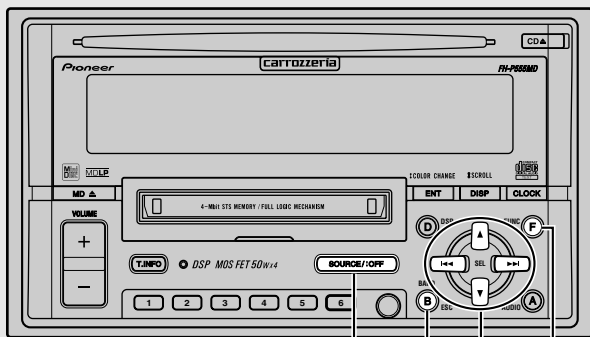
ボタンを押すごとにON/OFFします。



メモ

本体の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります

時計を合わせるには (☞ 便利な機能⑤)



ソース SOURCE ボタン
バンド BAND ボタン
▲/▼/◀/▶ ボタン
ファンクション FUNCTION ボタン

便利な機能 7 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

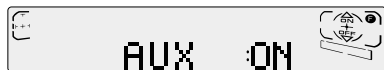
本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能④ 66ページ)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで① 12ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

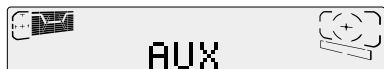
外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで① 12 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す



約2秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ CD/MD② 24 ページ)

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

リアの出力方法を変える

リア出力の設定

リア出力に接続するスピーカーの種類に合わせて切り換えます。

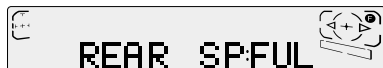
フルレンジスピーカーを接続する場合は、“REAR SP:FUL” に切り換えます。また、サブウーファーを接続する場合は、“REAR SP:S/W” に切り換えます。リア出力の設定を“REAR SP:S/W” に切り換えると、リアスピーカーリード線にサブウーファーを直接接続することができます。

(☞ DSP 調節⑥ 62 ページ)

1 リア出力設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

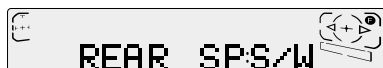
(☞ 便利な機能④ 66 ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : (S/W) サブウーファーを接続するとき
- ◀ : (FUL) フルレンジスピーカーを接続するとき



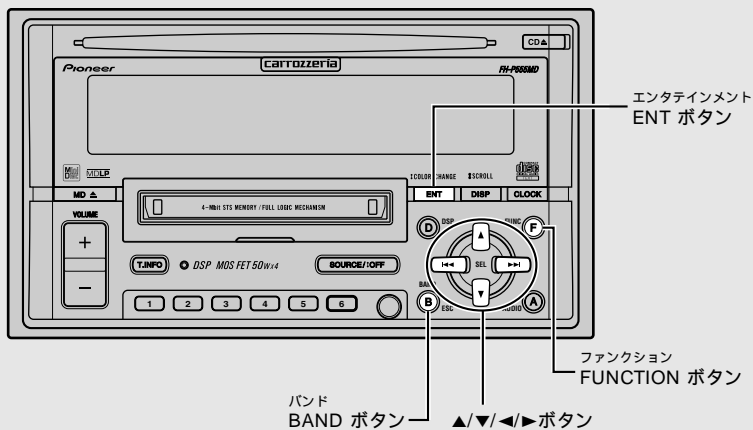
BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リア出力の設定は、リアスピーカーリード線とRCA出力を同時に切り換えます。どちらか一方のみを切り換えることはできません。

リア出力の設定を“REAR SP:FUL”にした場合は、サブウーファーの調節(☞ DSP 調節⑥ 62 ページ)はできません。

リア出力の設定を“REAR SP:FUL”にしたときは、ハイパスフィルターの調節(☞ DSP 調節⑥ 60 ページ)はできません。



便利な機能

10

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能④ 66ページ)



2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

便利な機能

11

ディスプレイの明暗を調節する

コントラスト

ディスプレイの明暗を、お好みに合わせて変えることができます。

1 コントラスト調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能④ 66ページ)



2 明暗を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 明暗の差をはっきりさせるとき

◀ : 明暗の差を小さくするとき



- 7 ~ + 7 の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (E3 DSP 調節 58 ページ) による音の歪みをなくすことができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定 (E3 DSP 調節 58 ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (E3 便利な機能 66 ページ)



2 設定を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : H (HIGH) を選ぶとき
- ◀ : L (LOW) を選ぶとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

ディスプレイの色を切り換える

バックライト切り換え

ディスプレイのバックライトの色を変えることができます。

1 カラーチェンジモードにする

ENTボタンを2秒以上押す

2 ディスプレイの色を変える

ENTボタンを押して選ぶ
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Turquoise

Atlantic

Deep Sea

EmeraldRay

RainyGrass

PrismTopaz

ArtApricot

Coral Lips

Pure Lotus

Amethyst

Rainbow ¹

Turquoiseに戻る

約8秒後に自動的にカラーチェンジモードが解除されます。(ENTボタンを2秒以上押して、カラーチェンジモードを解除することもできます。)

メモ

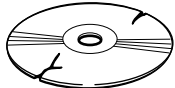
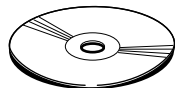
¹15秒おきにTurquoise ~ Amethystの全10色を順に切り換えて表示します。

使用できるCDについて

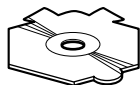
下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/CD-RWディスクは、正常に再生できない場合があります。

音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/CD-RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。

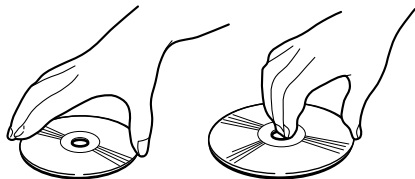
本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



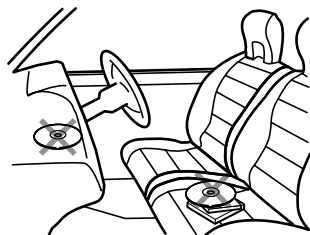
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



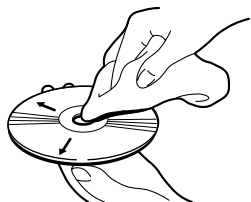
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

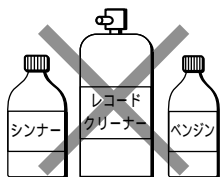
製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD（ミニディスク）をご使用ください。

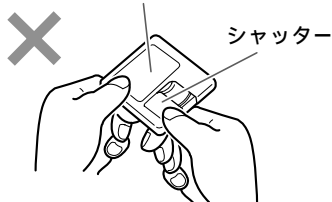


音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

取り扱い上のご注意

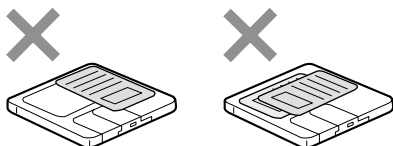
MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

カートリッジ

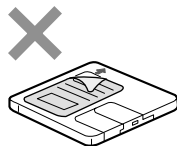


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。

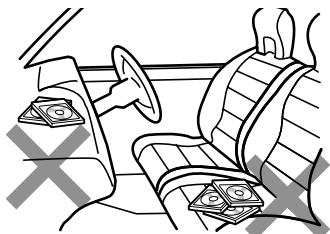


ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

TOC について

TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてく
ださい。(☞ はじめに④ 10
ページ)

それでも
直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他⑤ 80 ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものとの交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤ 15、17、19、21 ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能④ 65 ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 49 ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 49 ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 49 ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 73 ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 73 ページ)
	CDの裏表を逆にセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 14 ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴がついている。	
	録音されていないMDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで③ 16 ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 19 ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

CDのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「CD ERR-11」「CD ERR-12」 「CD ERR-17」「CD ERR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 ( その他① 73ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「CD ERR-14」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「CD ERR-10」「CD ERR-11」 「CD ERR-12」「CD ERR-14」 「CD ERR-17」「CD ERR-30」 「CD ERR-50」「CD ERR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「CD ERR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

MDのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「MD ERR-11」「MD ERR-12」 「MD ERR-17」「MD ERR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「MD ERR-20」 「MD ERR-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直し してください。それでも同じメッセ ージが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「MD ERR-22」 「MD ERR-24」	MDに異常（損傷している、 TOCが入っていないなど）が あるとき。	他のMDと交換してください。
「MD ERR-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してく ださい。
「MD ERR-01」「MD ERR-11」 「MD ERR-12」「MD ERR-17」 「MD ERR-30」「MD ERR-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「MD ERR-A1」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボ タンを押して (E3 はじめに④ 10ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生し ないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (E3 はじめに④ 10ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	他のMDと交換してください。

メモ

マルチMD再生中に、上記以外のエラーメッセ
ージが表示されたときは、マルチMDの取扱説明書
をご覧ください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
50W × 2ch/4 +70W × 1ch/2
(for サブウーファー)

定格出力 : 22 W × 4
(50 ~ 15,000 Hz, 5 % THD)

ラウドネス

コンター : 10 dB (100 Hz)、
7 dB (10 kHz)
(ポリウム : - 30 dB)

イコライザー

(9 バンド

グラフィック

イコライザー)

周波数 : 50 Hz, 100 Hz, 200 Hz,
400 Hz, 800 Hz, 1.6 kHz,
3.15 kHz, 6.3 kHz, 12.5 kHz

調整幅 : ± 12 dB

ネットワーク

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50 Hz, 80 Hz, 125 Hz
スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50 Hz, 80 Hz, 125 Hz
スロープ : - 18 dB/oct.
調整幅 : - 15 ~ + 6 dB
位相 : NORMAL (正相)/
REVERSE (逆相)

負荷

インピーダンス : 4
(4 ~ 8 [2 for 1ch] 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル : 2.2 V

出力インピー

ダンス : 1 k

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク

信号

フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 90 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク

信号

フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
量子化ビット数 : 16 ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
(IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

おもな仕様(つづき)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
 実用感度 : 9 dBf (0.8 μ V/75 、
 モノラル、S/N : 30 dB)
 S/N 50 dB
 感度 : 14 dBf
 (1.4 μ V/75 、モノラル)
 S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
 高調波歪率 : 0.3 %
 (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
 周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
 ステレオ
 セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
 実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
 実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
 (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
 アース方式 : マイナスアース方式
 最大消費電流 : 10.0 A
 外形寸法
 (取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
 160 (D) mm
 (ノーズ寸法) : 170 (W) \times 94 (H) \times 13 (D) mm
 質量 : 1.8 kg (コードユニット含まず)

付属品

コードユニット : 1
 取付ネジ類 : 1 式
 取扱説明書 : 1
 取付説明書 : 1
 安全上のご注意 : 1
 保証書 : 1
 ご相談窓口・
 修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 **0070-800-8181-11**

カタログのご請求窓口

 **0070-800-8181-33**

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

< KICFF/01C00000 > < CRA3119-A >